

養老町制四十周年記念

室原曳鉦歌舞伎

とき 平成六年十月五日(水)

午後二時より

ところ 養老町室原 熊野神社内



高度な技術・確かな信頼を約束する



総合電気設備設計施工



タイガー電気株式会社

本 社

岐阜県不破郡垂井町栗原1265-15

養老営業所工事部

岐阜県養老郡養老町大坪290

電 話 (0584) 34-3688

F A X (0584) 34-3732

相川之月段海之花千頃美田一村人家春耕
夏植秋收嘉禾熊野之社祭幟風斜鼓
笛相響三輛山車兒女綺衣父老醉歌古
來樂土物足人和有人于茲執筆無他考
古尋舊年月已過村吏新成著錄不差
後世永傳其功何磨

昭和甲寅二月 蝶如 富長覺夢



相川ノ月。段海ノ花。千頃ノ美田。
一村ノ人家。春ニ耕シ、夏ニ植エ
テ、秋ニハ嘉キ禾ヲ収ム。熊野ノ
社ニ祭ノ幟、風ニ斜メニシテ、笛
ト鼓ハ相響キ、三輛ノ山車、兒女
ハ綺衣。父老ハ醉歌ス。古來ノ樂
土ニシテ、物ハ足リ、人ハ和セリ。
ココニ人アリテ、筆ヲ執リテ他ナ
シ。古ヲ考エ、旧ヲ尋ネテ、年月
己ニ過ギタリ。村史ハ新ニ成リテ、
著録スルトコロタガワズ。後世ニ
永ク伝エテ、其功ナンゾ磨センヤ。

昭和甲寅二月

蝶如 富長覺夢



どこに頼めば安心なのかしら？...

そんな時お気軽にご相談ください。

職人の技と心でお応えします
建具製造販売・襖新調貼替・アルミサッシ組立・取付

青木木工所

養老郡養老町室原624
電話(0584)32-1699



「心の時代」を育む 曳軸文化

養老町長 清水敏郎

室原の曳軸は、宝暦をはじめとして文化・文政の頃から二百年余の伝統ある精巧優雅な県指定の有形文化財でございます。これを保持していることは、人々の心を和らげ、人と人とのふれあいを助長するものとして誇りとしてよいと思います。

この歴史的文化的遺産は、自然に恵まれた地域の安全や繁栄を護持するかのような役割も果し、五穀豊穡を願う実直な気心は、その時代の文化をみせさせてまいりました。こうしたことは、これからも大切にしなければなりません。

特に、平成の歳に入り、各瀬古の曳軸が、大修復され、絢爛豪華な様相を再現し、先人への報恩の念は厚く、極めて崇高なものと云えます。

同時に永年にわたり、幾度かこの曳軸で稚児歌舞伎が上演されてまいりましたが、昨今、心の豊さを求める傾向が極めて強くなってきております。こうしたとき、個性的で伝統的文化を継承することは、深い意義があります。

本年は、町制四十周年記念事業として区民総意により賑賑しく演出されることは、香り高い文化の町に芸能への関心が高まり人々の心を和むことでしよう。こうした芸能文化への愛着は、これからの所謂「心の時代」を育むことになり、心からお慶び申し上げます。

祝 養老町制40周年記念

和洋酒・料理・仕出し

高 嶋 屋

喫茶 & 軽食

美 幸

大垣市十六町437-3
電話(0584)91-6586



H2.10

長い歴史と伝統を誇る室原曳軸が県・町・関係各位の皆様方の御理解と御支援の賜で精巧、優雅な漆塗り蒔絵、名工の彫刻、飾金具など美術工芸の粋を集めたものであり、県の重要文化財にも指定されて居ります。この絢爛豪華な曳軸の舞台で演じられる華麗な子供歌舞伎の静、動のおりなす美しさと子供達の可憐な絵姿は観る人に時代を越えた感動もあたえてくれます。

また今年には、養老町制四十周年と時を同じくして、三輻の曳軸が立派に修復竣工され、子供歌舞伎も復活され、盛大に競演されます事は、限らない関係各位の郷土愛・郷土芸能への愛着心、後継者の育成等多大なる御努力の賜でここに深く敬意を表する次第であります。今後共皆さんの手で受け継がれ、引継いで頂きます様ますます御発展、御精進あらん事をご祈念申し上げます。



子供歌舞伎に 寄せて

県会議員 古川利雄



National/Panasonic

ウインドかわち

〒503-13 養老郡養老町室原745

☎0584-34-0871

FAX0584-34-3539 ☎0120-34-0871

〈営業のご案内〉 時間AM9:00~PM9:00 毎週水曜日休
(旧店名 川地電化ショップ)





室原曳軸子供歌舞伎 に寄せて

室原区長会長 高木敏雄

町制四十周年を記念して今回室原曳軸子供歌舞伎を上演するにつ
きましては、当地区の皆様方には、大変なお世話とご理解ご協力を
賜り、心より感謝とお礼を申し上げる次第であります。

伝統と、長い歴史を誇る曳軸祭子供歌舞伎を、多勢の人々が観
覧いただきますことは、本当に喜ばしいかぎりです。

この豪華な曳軸は、精巧優雅な漆塗り蒔絵名工の彫刻など美術工
芸の巧粋を集めたもので有り、この曳軸は三輛共に長浜式歌舞伎軸
であり、町の重要有形民俗文化財にも指定されております。

この豪華な曳軸の舞台で、子供歌舞伎のおりなす美しき、子供達
夏休み中に真剣そのものに取り組ました演技を無心に演ずる、然も一
人ひとりがその役割に身も心も溶けこんで演ずる子供歌舞伎をこ
ゆつくり観劇頂きますよう希って居ます。

このような素晴らしい伝統芸能が今日まで引き継がれてきました
ことは、関係各位の限らない郷土芸能への愛着心と、保存会、文楽
及び各瀬古の役員の皆様が、長い年月伝統を重んじ、情熱をもって
祭行事等を引き継がれ、なお曳軸を大修復されて後継者に引き継が
れる努力に深く、敬意を表す次第であります。



H2.10

あたかも今年には養老町制四
十年と記念すべき年に、長い
歴史と伝統を誇る室原子供歌
舞伎を上演出来たことは何よ
りも喜びと致すところで有り
ます。いつの世までも受け継
ぎ、続く事を希い、室原区の一
層の発展と皆様方のご健勝
ご多幸を祈念致しましてご挨拶
と致します。

養老町水道給水工事指定店・南濃町水道衛生工事公認店

一級 管工 事木 施工管理技士

給排水・衛生・冷暖房・ボイラー・浄化槽設備工事一式

有限会社 佐竹正設備

代表取締役 佐竹正則

〒503-13 岐阜県養老郡養老町室原709

TEL <0584> 34-1317

FAX <0584> 34-0632

郷土の文化財

室原文化財
保存会長 安福彦七



室原成立の歴史は古く、集落の東方沖の小字五郎丸や茶園原からは、素恵器や山茶碗の破片が出土しています。又、北方の小栗栖神社は「神名帳」に載る千年以上の古社であることは、室原の古さを物語っています。

江戸時代になると室原は北方に中山道の宿場町垂井や東方に十萬石の城下町大垣を控え、その影響は大きく農村として、戸数も増えて地方文化の高い集落として、古い歴史を積み重ねてきました。

氏神熊野神社は約五百年前紀州の熊野権現から勧請されています。十月五日の祭には、県重要文化財指定の三輛の曳軸が、勢揃いします。次にもう一つの県重文指定に福源寺の聖観世音菩薩があります。これは藤原時代の一木彫りで氣品あるものです。なお、この寺には町重文の大日如来、十一面観音菩薩、雲版等があります。

又、町指定の史跡である北尾春圃の墓が福源寺裏にあります。春圃は正徳享保の二回、朝鮮通信使と会談し「桑韓医談」を発行し、他に多数の医学書も世に出している名医です。平成二年寺の本堂前に、顕彰碑が建ちました。



福源寺本尊聖観世音菩薩
藤原時代の作（県指定文化財）

室原文楽

室原文楽は、文政（二八二八）の頃、土佐の国の茂平衛という人が巡業に来て、病にかかり、当地に滞在中、有志の者に教えたのが始まりと伝えています。

文楽とは操人形淨瑠璃芝居のことです。人形は着物を着せて三〇—五〇cm、指であやつります。

頭は芸題によって異なりますので三〇種ぐらい保存されています。芝居は、その場で舞台を組立て実演し、十四・五人の文楽連中があつて要請があれば出向いて開演します。芸題は朝顔日記、阿波鳴戸、太功記等があります。（町重文）



熊野神社及境内社祭神

忠魂碑

明治以降戦没者
四十九柱を祭る

天満宮

菅原道真公

素盞鳴社

素盞鳴神

伊邪那美神

(熊野夫美神)

本社

速玉之男神

(伊邪那岐神)

事解之神

十二社

天神七代
の神
地神五代

金力比羅神社 祭神 大物主神 崇徳天皇

大年神社 (御鋏神社) 祭神 大年神

數立神社 祭神 猿田彦神

木のぬくもりには、心なごむやさしさがある。
本物の美しさを、あなたにも…………。

ウッドハンガー・オーダー製造

カワチ工芸

代表者 川地 一夫
岐阜県養老郡養老町室原1013

—— 満足の宴をお約束 ——

- 川魚料理
- 季節料理
- 会席料理
- お昼の定食

魚新

ご予算に合わせてご相談承ります。

送迎バス有
■駐車場完備

飯田187-2店 ☎32-0048 座敷 ☎32-1588

熊野神社御由緒

養老町室原七一四―一

伊邪那美神（熊野夫美神）

御祭神 速玉之男神（伊邪那岐神）

事解之神

室原地区氏神の創建は不詳であるが、史的考察によれば平安末期頃と推定される当時尾張の午頭天王を祭る日本総社津島天王社から分神を受け室原天王社として祭つたのが始まりであろう。天王社の祭神は素盞鳴神である素盞鳴の御神徳は広大であるが、住民は特に災厄疫病除けの神として崇敬したようである。

年を経て古老達の言い伝えと史的考察によれば、文明大永年（自一四六九至一五七〇）の頃か紀州熊野権現から分神を迎えそれを主神となし、室原熊野権現とし、天王社は旧の儘に置いた、その後別当として真言宗の知善院を建立し、権現社の体制が整い江戸末期まで続いた。

寛文十年（一六六一）一月二十八日に大火にあい全焼したが、時を経て松皮葺社殿を再建し拝殿は文化十年（一八一三）の古文書によるとそれ以前から瓦葺として、現在と略同じものが建てられていた事がわかる。

平成五年にこれを改築した。

明治六年（一八七三）には神佛分離の法令が徹底されて知善院は廃寺となり熊野神社とした。

祭神は左の通りである。

伊邪那美神（別名）熊野夫須美神



元拝殿



H5.10

速玉之男神 (別名) 伊邪那岐神
事解之男神

天王神はその儘で素盞鳴社と呼ぶ事にした。祭礼は十月五日、軸三輛を曳き昔から豊年の年には軸で子供歌舞伎を奉納する習わしがある。

神社の位置は室原七一四番地の一
境内は三八八五㎡

平成五年十月文責 安福彦七

STONE MEISTER

石工房

SEKIGAHARA・CHUBU・WORKS CO.,LTD.

関ヶ原中部工事株式会社

〒464 名古屋市千種区高見2丁目13番4号 関ヶ原石材(株)名古屋支店ビル3F
TEL(052)762-3141(代) FAX(052)762-3230

代表取締役

川 地 康 満

岐阜・滋賀事業部

岐阜県不破郡関ヶ原町2682
関ヶ原石材(株)内
〒503-15 TEL(0584)43-2773

北陸事業部

金沢市中村町26番50号
関ヶ原石材(株)北陸営業所内
〒921 TEL(0762)43-3855

静岡事業部

静岡市人宿町1丁目3番地
関ヶ原石材(株)静岡出張所内
〒420 TEL(054)255-6110



H5.10.3

貴方のヘアー御任せください

技術とセンスのお店

佐久間理容院

岐阜県養老郡養老町室原宮前1280

☎(0584)32-2411

有限会社 田 中 組

〒503-13 岐阜県養老郡養老町室原1214

TEL <0584>32-0856(代)

FAX <0584>32-0956



都民広場から見た東京都議会棟

石が生まれかわり、大空に栄える時、
人と街とがアンサンブルを奏ではじめる……。



フジ大理石株式会社

直営工場

フジ大理石株 岐阜県大垣市神明1丁目16
〒503-22 TEL (0584) 70-0808
FAX (0584) 71-2177

フジ大理石株 岐阜県養老郡養老町細野1058-1
養老工場 〒503-16 TEL (0584) 45-3568
FAX (0584) 45-3578

フヨウ石材株 岐阜県養老郡養老町室原257-1
〒503-13 TEL (0584) 34-3108
FAX (0584) 34-3370

フジ石材株 岐阜県揖斐郡池田町八幡2123-1
〒503-24 TEL (0585) 45-6111
FAX (0585) 45-9662

営業・施工

株フジ大理石札幌 札幌市白石区菊水元町9条1丁目61
〒003 TEL (011) 875-1228
FAX (011) 875-1233

株フジ大理石東京 東京都品川区大井4丁目10番6号
〒140 TEL (03) 3776-8310
FAX (03) 3776-8692

株フジ大理石名古屋 名古屋市中区新栄3丁目11番22号
〒460 TEL (052) 251-7894
FAX (052) 251-7785

株フジ大理石大阪 大阪府東大阪市新庄903-1
〒578 TEL (0728) 61-7788
FAX (0728) 61-7780

株フジ大理石福岡 福岡市南区長丘2丁目1番5号
〒815 TEL (092) 553-6206
FAX (092) 553-6218

株明治大理石 大阪市中央区本町橋2番13号
〒540 オカダビル
TEL (06) 941-7488
FAX (06) 944-0165

養老永樂屋の伝統工芸師だから造れる仏壇



岐阜県養老郡養老町高田
本店 TEL(0584)32-0850
FAX(0584)32-2928
柏尾工房 TEL(0584)34-1599
フリーダイヤル 0120-0584-99



新築・葺替工事・販売施工一式

西脇瓦葺工事店

西脇正義

養老郡養老町下笠641
電話(0584)35-1812

酒類・ギフト・たばこ

河合 大正堂

岐阜県不破郡垂井町栗原1588-2

電話 (0584)22-0615



平成2年10月5日

村起し天皇即位 記念子供歌舞伎

重機・土木工事一式

渡辺重機株式会社

〒503-13 岐阜県養老郡養老町蛇持426番地

TEL <0584> 32-3410(代)

FAX <0584> 32-9137

町重要有形民俗文化財指定

町指定 昭和四七・一一・七 室原井畑軸 絵画襖四枚折 日比野鶴翁の作

町指定 昭和四七・一一・七 室原色目軸 木彫狭間 佐竹民弥の作

町指定 昭和五〇・一二・一一 室原井畑軸、色目軸、東向軸

養老町室原曳軸保存会設立 昭和五五・九・一 発足

町指定 昭和五五・九・一 (保存会宛再指定) 高田軸三輛 室原軸三輛

県指定 昭和五五・一一・一一 保存会宛指定

室原音頭 この音頭の始めは明らかではないが、昔徒歩で伊勢参りをした頃、松坂踊りを見て、それを持ち帰ったのが始めだと云う。

その後のことはよくわからないが、大正・昭和の御大典祝賀余興には盛んに踊り歌われたという。

終戦後になると各地に盆踊りが盛んになり、室原に於いても、青年団が主催となり毎年八月十五日を中心と三日間ぐらい、熊野神社の境内に櫓をくんで盛大に盆踊りを行うようになった。この時に室原音頭と称するものを歌い踊るが、これと云う特別なものはない。

熊野神社の祭と軸芸の歴史

祭の曳軸の光景 祭が近づくると各瀬古では青年(昔は若連中)達が笛を稽古して、その音色は夜々村に響き渡って祭の気運が次第に盛りあがってくる。軸は青年が世話をするのである。総て祭当日朝、軸倉から曳き出し、瀬古の中心に至る。東向は住吉神社の前、井畑は大神宮様の灯明前色目も同様灯明前に位置し青年はお囃子をして、時を待つ。この軸の曳き手は各瀬古の男子全員(二軸に五・六十人宛)がこれに当るのである。青年は全員十数名が軸にあってお囃子と軸の世話をする。一番年長の青年二人は黒の紋付の羽織袴で軸の正面に坐るのである。氏神様への曳き込みの



昭和25年3月

青年団歌舞伎垂井劇場にて

順序や時刻は各瀬古の年行司(二瀬古に五・六人宛)が相談し連絡してきめる。これには大当番と称し三瀬古交代で当たるが、大当番は一番軸となつて、リード役になるのである。神様の式典が十四時に始まるとそれに合せて、十三時半頃にお宮の境内の入口の前の三叉路に三輦が顔を合せ、各軸の紋付羽織袴の二人宛三組都合六人の青年が礼儀正しく、挨拶して、それが終るとおもむろに、一番軸から境内へ曳き込み拝殿の正面二〇米位前の位置に、向つて左が一番軸・二番軸が中・三番軸が右に三軸が揃う。それから各軸の紋付姿の代表青年が神前に神酒を供えると祭の式が始まる。

* (後見人と云う)

大豊年の年には、豊年を祝つて軸芸を行う時があるがこの時は、軸を曳き込んだ後で盛大な練込みが行われる。軸の曳出はやはり一番軸を先頭とするが、だいたい二十時頃に各軸に献灯し、お囃を行い、別に三瀬古が献灯した提灯破りを行うと二十一時頃には軸倉へ曳き込み、祭は愈々これで終るのである。

祭と軸芸(子ども歌舞伎)

各目軸が文化五年(一八〇八)に購入され、その年に俄芸を行ったことは明かであるが、その後の記録は庄屋の御預御役所への届け書によれば弘化三年(一八四六)に三輦中の一軸が子どもおどりをを行うとある。又色目年行司記録によれば、安政三年に新造の軸に佐竹民蔵の彫物も終つて、おどりをした事が記帳されている。その時の練は「伊勢道中竹山」と明記してある。この時は文章から判断して三軸とも行ったようであるが他瀬古の記録はない。又同じく安政六年にも、おどり入用覚がきかされている。この時の色目では、「練 御本山の木びきと女良之道中に竹山の囃」と記してある。尚色目の年行司の帳面によると宝暦十一年から記録してあるが寄せ銭が主で他の記録がなくて軸芸を行ったことは、わからないが或る年には多くの寄せ銭をしている。このような年には、軸芸をやつたのではないかと想像ができる。昔から大豊作の年に行つたと云うが、この帳面によると宝暦十一年以後、所々に寄せ銭の多い年がある。又、明治になつてからは、故多和田宗五郎氏の記録帳に明治四十一年九月二十日に「浄るり」を行うとある。「祭 浄るり 東向、青木九三、色目、清水繁一(三味) 青木捨太郎 井畑 三味高田より来る」とあるが、其他は記録も言伝えない。



養老町合併 祝賀 室原余興 軸芸(子供歌舞伎)

トラックで高田町へいき行う神靈矢口の渡し頓平衡館の段



臥龍閣（色目軸）昭和30年子供歌舞伎

義経千本櫻川連法眼館

大正五年からは記録がはっきりしているの
軸芸の一覧表として、芸題から役者まで一〇回
行った記録をか、げた。



H2.10



鳳凰山（東向軸）昭和30年子供歌舞伎
一之谷嫩軍記熊谷陣屋の段

内科・循環器科

吉田内科

医師 吉田麗己

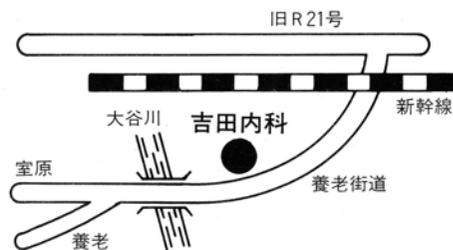
■診療時間

平日 午前9:00~12:00
午後4:00~6:30
土曜日 午前9:00~12:00

■休診日

日曜日・祝祭日

大垣市綾野5の29
TEL (0584)92-2188





萬歳閣（井畑軸）昭和30年子供歌舞伎 奥州安達ヶ原三段目袖萩

当瀬古祭礼祀樓之由緒（色目軸由緒）清水敏郎所蔵

抑祭礼祀樓を興起致候、最初ハ文化二丑年御堤御普請之後、是を借用致し、惣若連中として、

大豆を植付、価金三兩と相成り村方へ預ヶ置、其後同三年寅霜月右ノ金子村方より請取三瀬古壹兩づつ配分則、新右エ門頼母子講ニ壹兩懸り置き候、且又同年八月藤五郎当番ニ而屋まの元立として奉加致し候えば金壹兩貳歩貳朱と錢百文有之候、依て辰六月十四日惣瀬古寄合相談之上祭礼之趣意相究り即十五日に垂井宿、儀右衛門殿願御世話古祀樓を買求メ同七月ニ奉加致し候処家並ニ金貳朱づつ割請金七兩壹分貳朱有之候、依亦同八月迄之入用金メ拾四兩貳分貳朱なり、此外に垂井宿東町、屋ま能古幕を金四兩貳歩ニ買求メ辰八月祭礼ニ俄芸仕始メ候、依て巳正月より家並ニ月次懸錢八文づつ不滞取集金毎年俄芸之雜用ニ可致様之事ニ御座候已上

文化六年巳八月

祭の秩序 永い伝統を誇る祭の曳軸は、三瀬

古住民の和合一致協力によって秩序が保たれるのであるが、ときには、勢が余ったり、感情に走って口論したり、秩序が紊れることがある。安政五年頃には若連中の従来のにきたりがくずれて取締書を取り交している。又、明治二十年には曳軸の秩序について三瀬古が曳軸の規約を制定している。更に年代はちよつとさかのぼるが明治五年に色目瀬古の「祭礼当番取極之事」と云う、瀬古の申合せきまりを定めて、当番の仕切りを引締め無駄をはぶいている。詳しいことは余白がないので直接史料を研究されたい。

木製建具・襖・特注家具・ガラス工事・アルミサッシ(YKK)
アルミ建具・ビル用サッシ・三和シャッター・スチールドア・エクステリア

YKK特約店



タナカ建具

大垣市割田町465
TEL(0584)89-1039(代)
FAX(0584)89-8148

「やま」の字について

現今、当地方では「軸」をやまと読んで、この字が一般に使用されている。したがってこの冊子もこの字を使うことにした。しかし、辞書には「山車」をだしと読んで出ているが「軸」は見当らない。そして山車の意味は祭に車の上に色々の飾り物をしてお囃子しながら曳き歩くものとある。又江戸期の古文書を見ても殆どこの山車が使われている。しかし、いつの間にかこの地方では車に山がくっついた「軸」と云う字が使われるようになった。又当地ではだしと云う言葉より、やまとか曳きやまという言葉が多く使われている。したがって辞書になくとも「軸」と云う字が我々にびったりしてかこの字が自然に使われるようになったのではないかと思う。ついでにここでやまについて色々の例を二、三挙げてみよう。

文化五年の室原の古文書に「祀樓」又同文中に「山」が出てくる。嘉永二年に「軸」を使った古文書に載っている。

山車やまぐるまの一種の「山鉾」は台の上に造り物があつて、その上に鉾・薙刀などが立っているもので、京都祇園祭の山鉾は有名である。

だんじり（壇尻・楽車・山車）祭礼の曳物の一種で車上に山・人物・草木・動物等を飾り立て囃子を行い曳き歩くもので関東では山車・屋台など、関西では山やまという。

鳶土工事総合一式

高木建設(有)

代表 高木 治作

大垣市静里町467-8
TEL (0584) 91-3731
FAX (0584) 91-3793

町重要有形民俗文化財指定

軸やまの歴史

一、色目軸（臥龍閣） 色目の軸は文化五年「御祭礼山奉加諸色帳」があるので由緒がはっきりしている。

これによると文化二年に御堤普請後、これを借り受けて豆を植付金三両の金を儲け、一両宛三瀬古に分けその金を頼母子講にして増やし、更に寄附金を集めたりして、同五年六月十四日に色目総瀬古集り相談し、軸を求めることに意見がまとまった。

役員は早速同十五日に垂井宿の儀右衛門殿の世話で軸を買ひ求め、同七月に再度家並に二朱づつの寄附金を集め、同八月までに金拾四両貳分貳朱の大金を支払っている。又この外に東町で古幕を金四両貳歩にて買ひ求め八月の祭礼に俄芸を行った。この金子は当時としては大金で借金もしたと思われる、その後毎月八文宛集めたこともこの文書に書かれている。この集金は文化十一年にも及んでいることが瀬古年行司の帳面にある。又この購入した軸は垂井町の西町の軸だと考えられる。西町では現在の軸に造りかえるため室原へ売ったのだろう。西町の現在の軸、攀鱗閣は文化五年に関ヶ原山中の藤井太兵衛が造っている（垂井町史委員会、これは年代的にも一致している）。

色目軸は後になって新造されるが、それは、蓮沢寺の改築後、嘉永六年頃に軸倉を造り続いて安政一・二年頃に軸を新造した（史料によって）と考えられる。大工は、江州の蔵之助で三年間蓮沢寺の前に住み込み、この三つの大きな仕事をしたと伝える。又軸の狭間さきまの彫は佐竹民藏（民弥と云う）が安政三年に完成している民弥は立派な彫師で、この軸の彫物は昭和四七年に養老町文化財に指定された。尚柱等の漆塗は明治初年に行った。このようにして長年か、って今日のような立派な軸に完成させた。

お車のことなら川地モーターズへ

各新車・中古車販売、車検、点検、一般修理、自動車保険

川地モーターズ

代表者 川地三好

岐阜県養老郡養老町色目518-5

TEL0584 (34) 1241

FAX0584 (34) 2943

二、井畑軸(万歳閣) 色目軸購入の時の古文書に豆を植付け三両を得て各瀬古へ一両宛分けたとあり又、色目は総瀬古寄合い軸を求むる相談が成って、直ちに垂井宿へ購入に行ったようになっている。これから考えると室原の軸三輦は色目の文化五年八月に求めたのを初めに順次求め三瀬古とも揃ったのではないか。そこで井畑軸については、軸の中の赤い幕に楷書で次のように記してある。

井畑軸 万歳閣

宝曆三癸 八月吉旦 西濃不破郡室原村本郷井畑

氏子右再建暫中絶及

大破時文政九年丙戌八月新求之

これは、何年頃にこの幕に書いたのかわからないし又意味も判断しぬくい点があるが文政九年に新たに求めたと云うのは垂井の中町の軸ではないかと推察する。軸倉の建立も文政十二年と記してあるので文政九年に新たに求めたと云うことはほぼ間違いないだろう。垂井東町の軸は宝曆五年二月、垂井町の大火事で焼けているし、西町の軸は既に色目が購入しているので中町の軸を井畑へ購入したのではないか。中町の軸は文化文政の頃に新造したと地元で称している。

軸の四本の襖は高田の日比野鶴翁の絵で松に黒い鳥、裏には菊が描いてあるが傑作で昭和四十七年に町の文化財に指定された。

ついでに現在の軸倉であるがこれは、明治四十一年九月に石を三尺積み上げ、その上に建てられていていることを附記しておく。



シロヤクリーニング 取付店

井上寿弥子

養老町室原311-1
電話(0584)34-1021

三、東向軸（鳳凰山） 軸の初めは醒ヶ井より購入したと言伝えているだけで、何年頃とも、価額は勿論のこと、どうして運んだとも全くわからない、ただ大きくて曳くのに難儀をし、人々の援けを得て、やっと引ばったと言う話だけが残っている。大正十年九月二十七日の大暴風で軸倉が倒れて、軸も共にこわれた。丁度その年に赤坂東町に古軸が出たので同十一年四月に金参百円で購入し、宮代廻りで曳き運んだと云う。倒れた軸の上部のちんは健全であったので購入した軸に合せ組立てたと云うことである。この時の大工は表佐の高木儀作であった。ついでに、こわれた軸は高田の古物商七五三郎氏外三名に金八〇円で売却した。軸倉は同一四年に改築し総経費軸も含めて六九〇円余であった。（大正十三年十一月五日）
（可記録による）

室原に三輛の軸が揃ったのは色目軸を購入した時の古文書によれば文化二年に豆を堤防に植えて得た金三両の金を三瀬古に一兩づつ分けてそれをもとにして、軸を購入する相談がまとまっている。色目は、すばやく購入しているが、他の二瀬古は記録がなくて、よくわからないが、早急に求めるよう努力して、文政年間には三輛の軸が揃ったのではないかと考えられる。



祭奉納軸芸練込図

神占、加持、祈祷、諸祭式

御嶽教養老照王教会

教会長 國尾照明

養老郡養老町室原606番地
TEL0584-34-1927

室原祭曳軸（県指定）



色目軸（臥龍閣）



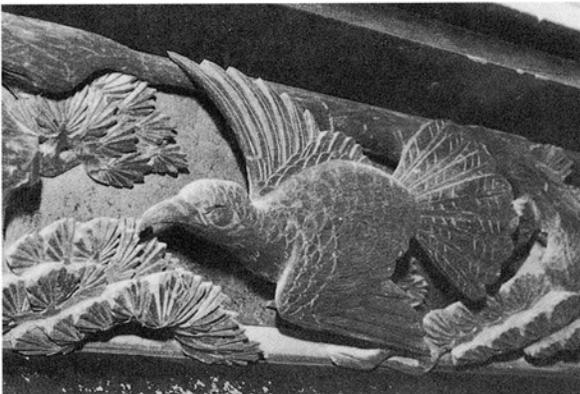
東向軸（鳳凰山）



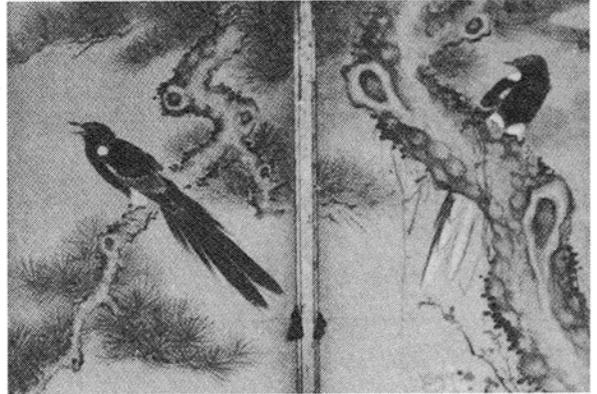
井畑軸（万歳閣）

曳軸神事次第

五月二十九日	初実行委員会
六月十一日	芸児集め 芸題定め
六月十三日	三役揃い初顔合せ 稽古初め
九月下旬	稽古納め 軸飾り
十月四日	試楽 十九時より当番演技
十月五日	本楽（ふれあい広場） 十二時古式練込み出発 十四時〇〇分神前奉芸 十六時三〇分神前奉芸 十九時三〇分神前奉芸



色目軸の彫物町文化財（彫物師佐竹民弥）



井畑軸の襖絵町文化財（日比野鶴翁の筆）



一番軸

萬歳閣

井畑瀬古

萬歳閣紹介



室原祭曳軸 有形民俗文化財

室原 室原曳軸保存会蔵

この曳軸は三輛とも長浜型式で、屋台の前半分は大屋根付三方開きの舞台で、後半分は楽屋となり、歌舞伎が行える。

(一) 井畑軸(万歳閣)

軸の赤幕に、宝暦三年(一七五三)に軸が大破したので文政九年(一八二六)八月に新しく求めた由が墨書してあります。これは垂井宿の中町の軸を買い求めたものと推察します。軸倉は文政一二年に建立しています。軸の襖の絵は、高田の絵師日比野鶴翁(弘化四年歿)の作で松に黒い鳥を描いたものです。昭和六二年に大修理をしました。軸の高さ六・五尺、間口四・一尺、奥行六・五尺、所在地は室原井畑瀬古。



二番軸

鳳凰山

東向瀬古

鳳凰山紹介



(二) 東向軸 (鳳凰山)

東向軸の始まりは、古文書によって判断しますと、軸を新たに求めたのは天保一二年（一八四二）の鋳軸奉加帳の軸購入代金の残金整理状況からみて天保一〇年頃と推定することができます。購入先は、古老達が江州醒ヶ井と伝えていきます。

大正一〇年（一九二二）九月二七日の台風で軸蔵が倒潰し、その時、軸もともにこわれました。丁度その年に都合よく赤坂東町の軸が売られる話を聞いて、有志達は、早速赤坂へ出て、その軸を購入しました。それが現在の軸です。障子の絵は十六の画家藍涯の筆です。軸の高さ七・二尺、間口三・六三尺、奥行六・二尺、所在地は室原東向瀬古。



三番軸

臥龍閣

色目瀬古

臥龍閣紹介



(三) 色目軸 (臥龍閣)

色目瀬古の軸は、古文書によると、文化二年(一八〇五)にお上の御堤普請後、その堤を借り受けて、大豆を播き、金三両の金を儲けました。その金を一両ずつ三瀬古(室原に井畑、色目、東向の三瀬古あり)に配分し、その金を頼母子講等により増し、さらに寄付金も集めて、文化五年に垂井宿の西町の軸を買い求めました。

このようにして求めた軸も年を経て傷み安政二年(一八五五)には新造しました。この軸の狭間の彫物は養老町上方在住の民弥彫で有名な佐竹民蔵が安政三年に彫ったものです。

この軸もだんだん傷みがひどくなって、平成二年に大修理を完成しました。軸の高さ六尺、間口三・八尺、奥行六・五尺、所在地は室原色目瀬古。

室原熊野神社祭礼 軸芸 (子供歌舞伎) 最近の奉納状況

年次	色目軸 臥龍閣		東向軸 鳳凰山		井畑軸 万歳閣	
	芸題	役者名	芸題	役者名	芸題	役者名
大正五 一一・二	源平盛衰記日向島子別の段 川地文五郎、高木武男、川地徳治郎 高木文吾、高木藤一、高木俊吉 桐山郁太郎		奥州安達ヶ原三段目袖萩祭文の段 伊藤角次郎、近藤文吾、川地庄市 伊藤彦次郎、田中三佐吉		源平盛衰記三島おせん館の段 川地俊造、川地庄市、川地利七 田井孝造	
大正六 一〇・五	恋女房染分たずな馬方三吉子別の段 堀 三郎、高木和吉、佐竹仁作 川地周治	鎌倉三代記三浦之助館の段 伊藤角次郎、伊藤彦次郎、田中米吉 田中清一、佐久間武市	神靈矢口の渡し頓平衛館の段 川地文五郎、高木育次郎、川地東一 田井孝造			
大正九 一〇・五	扇矢熊谷陣屋の段 高木正之、川地二郎、川地次郎 清水静男、川地数之	正清本城の段 近藤源吾、田中由之、田中敬一 田中五男、青木隆夫、高木秀夫	繪本太閤記十段目尼崎の段 清水徳右衛門、川地光造 宮川梅太郎、田中安衛、岩田正直			
大正一五 一〇・五	近江源氏先陣館の段 川地岩造、高木領一、高木真一 川地利一、三輪四郎、川地定吉	義経千本櫻川連法眼館の段 長沢四郎、近藤源市、高木忠八 佐久間朝吉、青木 清、吉田敏夫 高田俊衛	源平染分牡丹畑景清六代君の段 高木宇七、青木忠三、堀 七郎 横田長次、清水喜代一			
昭和三 一〇・五	一之谷嫩軍記三段目熊谷陣屋の段 大矢 清、佐竹正樹、川地新作 高木専三、村上重雄、川地文助	一之谷嫩軍記二段目須磨の浦の段 伊藤政雄、近藤力男、田中好美 佐久間与一、長沢数男	一之谷嫩軍記流しの枝の段 高木春吉、川地喜代一、長沢弥六 大矢武夫、谷 万三、広瀬重毅			
昭和一一 一〇・五	忠臣講釈土佐の段 <small>鹿間</small> 住家の段 高木正雄、川地義治、高木三之 川地一美、川地 勇、古川栄作	桶狭間の合戦 三輪新六、青木正六、高田初二 長沢 弘、田中 清、田中兵一	勢州阿漕浦平治住家の段 川地源三郎、谷 信、高木 肇 多和田久雄、横田 求			

<p>昭和三〇 一〇・五</p>	<p>義経千本櫻川連法眼館の段 義経 青木四郎、孤忠信 高木 勝 静 長沢照夫、六郎 高木敏二 八郎 佐久間勇二、忠信 高木勝二 三役 振付 大谷友之助 太夫 豊竹美玉太夫 三味線 伊吹甚藏</p>	<p>一之谷嫩軍記三段目熊谷陣屋の段 熊谷 西脇寛樹、相模 近藤敏秋 弥陀六 伊藤郁雄、藤の局 青木 一 義経 伊藤孝一、軍次 高田 幸男 三役 振付 沢村訥茂丸 太夫 青木声玉 三味線 豊沢門三郎</p>	<p>奥州安達ヶ原三段目袖萩祭文の段 三番双 広瀬 泉、謙杖 川地常雄 お君 大矢賢治、義経 広瀬 泉 浜男 安福五郎、貞任 川地政典 袖萩 川地 隆、宗任 谷 正彦 三役 振付 堀 梅玉 太夫 多和田九太夫、竹本梅正 三味線 堀 梅玉</p>
<p>昭和三一 四・初旬</p>	<p>養老町合併 祝賀 室原余興、軸芸 (子供歌舞伎) 神靈矢口の渡し 頓平衛館の段 ⑪は年令 六藏 青木忠之 ⑪、お舟 青木 一 ⑪、頓平衛 川地政宣 ⑫、うてな 川地 隆 ⑪、義みね 川地常雄 振付 堀 梅玉、太夫 青木声玉、三味線 堀 梅玉 忠臣蔵七段目一カ茶屋の段 由良之助 青木三郎 ⑫、おかる 高木勝二 ⑪、平衛門 川地 孝 ⑫、かん崎 清水波夫 ⑪、風間 長沢文次 ⑫ 女中 川地 隆 ⑪、力弥 川地利彦 ⑩ 振付 堀 梅玉、太夫 多和田九太夫、三味線 堀 梅玉</p>	<p>トラックで高田町へいき行う</p>	
<p>昭和三三</p>	<p>文楽歌舞伎人形 町文化財指定記念 室原子供で実施 鎌倉三代記三浦之助館の段 川地 道夫、川地 義和、高木 善市、高田 徹 堀川夜討辨慶上司の段 高木 善市、川地 道夫、高田 幸男、三輪 賢一、高田 徹、伊藤 祝男</p>		
<p>昭和三五 一〇・五</p>	<p>祭であるが一つであるため公民館で行った。 忠臣蔵七段目一カ茶屋の段 青木 富雄、佐竹 清、田中信一郎、伊藤 明人、川地 一司、川地 正樹</p>		
<p>昭和三七 一〇・五</p>	<p>一軸で一回宛三軸で行った ④は小学校学年 阿波の鳴戸巡礼唄の段 高木 敏行 ④、川地 竹司 ⑥、川地 定男 ⑤、高木 元氣 ⑥、田中 頼彦 ③、田中 富芳 ④</p>		

平成二年十月五日

天皇即位、村起し

熊野神社奉納子供歌舞伎

絵本太閤記十段目尼崎の段

三役

振付 市川蝶升

太夫 竹本梅正

三味線 古山山昇

衣裳 中田貸衣裳店

平成六年十月五日

養老町制四十周年記念事業

室原子供歌舞伎

御所桜堀川夜討辨慶上使之段

三役

振付 市川蝶升

太夫 竹本左玉

三味線 古山山昇

衣裳 伊藤衣裳店

(恵那)

式三番叟
黒木上戸

青木亮

式三番叟
中野太夫

川地政嘉

式三番叟
白木上戸

高木義雄

武智光秀

佐久間建太郎

十次郎

川地保雅

さつき

川地涉

初菊

大矢好将

式三番叟
中野太夫

清水壘

式三番叟
黒木上戸

青木一矢

式三番叟
白木上戸

川地祐輔

口上

清水壘

武蔵坊弁慶

高田茂

侍従太郎

三浦慎吾

花の井

川地宏之

郷の君

広瀬昇

おわさ

三輪忠良

操 高木猛詞

築前守 高木義雄

久吉守 高木義雄

加藤清正 青木亮

旅僧 高木義雄

こらむ

子供たちへの期待

「今の時代は、子どもの都合に合わせて動かなければならぬので大変ですよ。」養老町室原地区の役員一人がこう言っていて苦笑した。地区では、小学生たちが十月に神社の祭礼で披露する苦楽歌舞伎の練習に取り組んでいる。その練習時間の確保が難しい。夏休み中はよかつたが、一学期が始まると、土・日曜や放課後いこと、サッカーの練習があり、予定はびっしり。父母らと話し合った結果、週に三日前後、平日の夜に集まることとなった。「戦前は、本番の数日前からその子どもだけ、学校を休ませ、朝から晩まで練習した。そういうことが許される時代だったのです」と、その関係者は懐かしそう。とはいえ、今の時代には、伝統を守ろうと熱心に練習をしている子どもたちへの期待があふれていた。(天西 洋和)

主馬之助 青木一矢

主人 川地祐輔

榊持 川地雄基

榊持 田中健司

榊持 高木智晶

御幣持 川地佑貴

御幣持 川地大輔

御幣持 田中悠也

御所桜堀川夜討
弁慶上使之段

三役



振付

市川 蝶 升



太夫

竹 本 左 五



三味線

古 山 山 昇

衣裳

伊藤 衣裳店

(恵那)



建築・増改築・設計施工

高田 建築

高田 徹

養老郡養老町室原675-1
電話(0584)34-1950

あらすじ

頃は寿永の始めの頃、平家一門を、一の谷、屋島、壇ノ浦にと討ち破つた源氏の大將、源義経は、其の功に依り、時の上皇より都の守護職と云う官職を授けられた。是は今の警視總監の様な位です。これを聞いた鎌倉の兄頼朝は、大いに怒り、側近にて、邪智深い梶原平三の言葉信じ、自分に忠節を誓うなら、御台所郷の君の首を討つて差出せと命ずる。郷の君は平家方の大納言平時忠の姫君で有ったからです。此の大役の使者を仰せ付けられた弁慶は、郷の君を救う為、初めて顔見た我が娘を身替りに首を討つ。郷の君を守る為、十七年振りに初めて顔見た我が娘を討つ弁慶、娘を討たれた母親の歎き、忠義一筋の戦乱の世の非情に生きた武士道の物語であります。

ちなみに、親子は一世、夫婦は二世、主従は三世の縁と言われて居ります。

20年の技術で安心クリーニング

集配・配達いたします

清水クリーニング店

養老町室原
TEL0584-34-1315

土木工事一式

高田 土木

代表 高田 保夫

養老町室原
電話(0584)34-1952



総合建築設計施工 岐阜県知事許可般6994

セイ ショウ
正 照 建 設

川地正矩

養老郡養老町室原532 TEL (0584)32-9051



御幣持
田

9才
中 悠 也
(弘行 長男) 南部

御幣持
川

10才
地 大 輔
(幸一 長男) 新宮

御幣持
川

9才
地 佑 貴
(二司 次男) 色目東

榊持
高

9才
木 智 晶
(春樹 長男) 南部

榊持
川

9才
地 雄 基
(茂己 次男) 相互

榊持
田

9才
中 健 司
(覚 長男) 南部

祝

養老町制40周年記念事業

室原子供歌舞伎

川 地 茂 己

金属研磨業

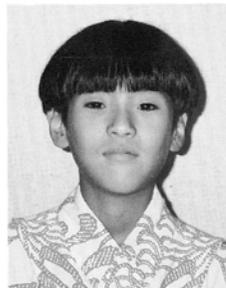
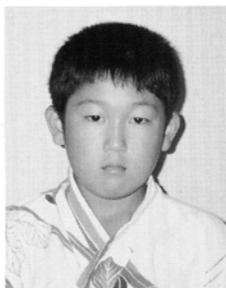
康久工業

田中康久

養老町京ヶ脇1350
TEL 0584-91-6069

伊藤文也

養老町室原
TEL 0584-34-1872



配役

式三番叟

中野太夫

清水

10才 (氏尚)

長男)

色目

星

黒木上戸

青木一矢

10才 (嘉男)

長男)

南部

白木上戸

川地祐輔

12才 (豊彦)

長男)

色目東



パーマ・御婚礼着付

川地美容院

養老町室原
電話 0584-34-1864

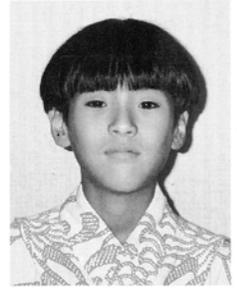
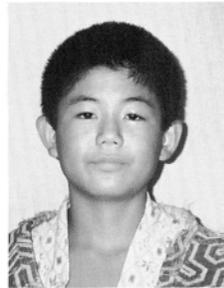
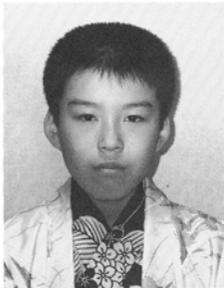
灯油・ガス器具・流し台

川宗プロパンガス店

岐阜県養老郡養老町大坪174

TEL (0584) 34-0753

自宅 (0584) 32-0631



川 花の井

12才 地 宏 之
(節夫 長男) 色目西

三 侍従太郎

11才 浦 慎 吾
(茂 長男) 色目西

高 武蔵坊弁慶

11才 田 茂
(徹 三男) 井畑

清 口上

10才 水 聖
(氏尚 長男) 色目

土 木 工 事
埋 立 工 事 一 式
重 機 工 事

松村建設

養老町室原

TEL 0584-34-3200

総合電気工事・設計・施工

おまかせ下さいあなたの会社

誠 電 気

パートナー (電気工事士) 募集

養老町室原1012

☎32-3069 FAX32-2987

各種プレハブ総合卸・外柵資材一般

親巧商事株式会社

本社／大垣市中曾根町7番地
TEL (0584) 91-3154
FAX (0584) 91-8069



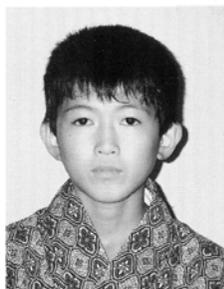
主人
川

12才
地
(豊彦)
祐
長男
輔
色目東



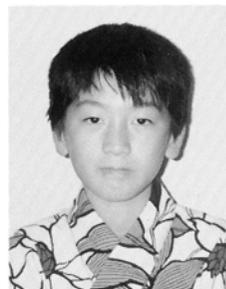
主馬之助
青

10才
ホ
(嘉男)
一
長男
矢
南部



おわさ
三

12才
輪
(賢治)
忠
三男
良
新宮



郷の君
信夫
広

11才
瀬
(泉)
長男
昇
相互

永年の信頼に技でお応え!

岩瀬 豊店

岩瀬省行

〒503-13 岐阜県養老郡養老町直江138
TEL 0584-32-2011

電気工事設計施工

長 沢 電 気 商 会

養老町室原6の6

TEL (0584) 32-3124

工 場 (0584) 34-2673



室原の人形浄瑠璃 (室原文楽)

室原の人形浄瑠璃は文政の頃に土佐の住人茂平衛と云う人が此の地に巡業に來り病となり住みついた。彼はこの人形浄瑠璃を後世に伝えたいと、有志をつのり、これを伝授したと云う。

文楽の上演については、記録がないので昔のことはわからないが、最近のことについては、上演者である堀定吉・青木忠夫等が居られて、その様子を知ることができた。

この文楽に一番熱中したのは、大正四年の御大典の頃であったと云う。その頃は軸芸も二・三回行っている。連中は堀浅吉・多和田久蔵・青木九三・三輪仁三郎・高木周内・清水繁一・三輪万太郎・金森貞次郎・川地吉エ門・青木捨二郎・田中三好・清水周吾・福岡勝等であった。清水繁一等「三味線」太夫は語る人で全員、人形使い専門が五六人いた。人形は現在青木忠夫が保管し、文楽と共に町文化財の指定を受けている(文化財の一覽表参照)。村内に認識が高まったのも大正四・五年頃で祭の軸芸とも深い関係を持って当時軸芸も頻繁に行われた。

新築・増改築のご用命は当社へ

本格派木造の注文住宅

河村建設株式会社

岐阜県養老郡養老町宇田200

電話 (0584) 32-0162 番

キ グ ナ ス 石 油 特 約 店

キグナス (株) 川 地 石 油

栄 町 給 油 所

岐阜県大垣市綾野6丁目16番地

電話 <0584> 91-1143番

室原の歴史
室原の指定文化財一覧表

町指定	町指定	町指定	町指定	町指定	町指定	県指定	指定別
彫刻	無形文化財	工芸	工芸	彫刻	彫刻	彫刻	種別
色目軸狭、唐獅子 松鳥等	室原文楽	文楽歌舞伎人形	雲板	十一面観音像	大日如来坐像	木造観世音菩薩立像	名称
一組		二六	一箇	一軀	一軀	一軀	員数
色目瀬古	青木忠夫	青木忠夫	福源寺	福源寺	福源寺	福源寺	所在



(ミニバイク・自転車)
販売修理

黒田モーターサイクル

養老町宇田174
電話. 32-9115

ヒューム管・鉄筋コンクリート管・コンクリート製品一式
生コンクリート・砂利・砂・住友セメント販売



三栄コンクリート株式会社

岐阜県養老郡養老町押越940-1
TEL (0584) 32-0819
FAX (0584) 34-0688

○佐竹民弥又民蔵とも云う、臥龍閣狭間の彫物は安政三・八・二三出来、十六村住民佐竹民蔵義寄四八才と銘あり、垂井西町の軸も彫る銘は元治元年八月成刻養老山下佐竹民弥五六才義寄とある。最後は上方で死亡して養老町の住民として立派な彫物師であった。府中・安立寺、十六の慶円寺・光照寺、岩手徳法寺、長浜の月宮殿の彫物、上方妙円寺、岩手高橋榮一氏の佛前狭間を彫る。養老町史にあり。

日比野鶴翁、高田町絵師時代は江戸末期、現在高田、日比野醫師祖先、立派な画家。

町指定	町指定	町指定	町指定
天然記念物	天然記念物	有形文化財	絵画
石 双 龍	榔 木	弥生式土器 五郎丸より出土品	井畑軸襖絵四本 作者日比野鶴翁
一箇	一本	一箇	一組
川地真二	住吉神社	国尾治六	井畑瀨古



井畑軸の襖絵町文化財（日比野鶴翁の筆）



色目軸の彫物町文化財（彫物師佐竹民弥）

婦人服製造

社員募集

加藤縫製

岐阜県養老郡養老町宇田193-7
電話(0584)32-0825(代)
FAX(0584)34-3171

住宅機器のリビングインテリア

大橋工機株式会社

〒503-13 岐阜県養老郡養老町高田蓮寺483の6
電話 〈0584〉32-0660〈代表〉



小栗栖神社

瀬古の神様

小栗栖神社 井畑瀬古、小栗栖に有り、祭神は従五位下小栗栖明神（美濃神名帳（千余年前）に記す）

住吉神社 東向瀬古、旧字正尺に有り、祭神は底筒之男神、中筒之男神、上筒之男神

○住吉三神のいわれ。伊邪那岐神が日向の橋の小門の阿波岐原に禊せられたとき、水の底で洗れたとき、底筒之男神、水の中流で禊せられたとき、中筒之男神、水の上で禊せられたとき、上筒之男神が生れ給う。

海の神として漁業人が信仰する。大阪住吉、長門、筑前、壱岐等の海浜に祭る。

○文化十年・天保九年・明治三年の古文書には、穂落大神宮となっているが、明治十四年の室原村報告書には住吉神社とある。したがって、穂落大神宮が現在の住吉神社にかわったのは明治四年から十三年頃までの間である。

○ナギの木一本あり。熊野神社裏に二本あって、県の天然記念物に指定されていたが、その二本は枯れたので昭和四十七年にこの住吉神社のナギの木が町の天然記念物に指定替えになった。



矢橋林業株式会社

木材センター

〒503 岐阜県大垣市河間町5-241-1

TEL. 0584-91-7400(代) FAX. 0584-92-2300



中央林業株式会社

原木部 〒509-01 各務原市須衛7丁目47番地 ☎<0583>70-4795
 ハウス部 〒503-24 岐阜県揖斐郡池田町青柳 ☎<0585>45-6122(代)
 犬山工場 〒484 犬山市橋爪字曾理見 ☎<0568>61-1940

振込銀行 十六銀行 本店 当座 32035



新宮神社

(H6.9.2)



住吉神社

(H6.9.2)

○みかげ石の玉垣、昭和二十四年四月皇太子成婚記念につくる。

○御神体を迎える、長年のため御神体の存在が明かでなかったので昭和四十七年十二月二十

日年行司(田中好美、田中勇) 全員大阪住吉神社に出向

き分神御迎えし同月三十一日、国尾治六氏のの

りにより遷宮した。翌四十八年四月二十二日

(日曜) 例祭を遷宮記念大祭とし、子供角力、

餅まきを行った。経費一戸当千円。四五戸分。

○社の御造営は昭和二十七年であるが、屋根を

銅板にて葺替えは昭和四十七年十二月、

新宮神社 色目、新宮に有り、祭神、新宮大明

神、迎えたのは、多分、熊野新宮からと推定する。

文化十年の寺社書上帳や次の棟札を参照のこと。

(棟札)

文化十三龍集 丙子 十二月吉祥日

奉再建 新宮社 遷宮師 亮 随

(棟札) 享和三年癸亥八月八日 天下泰平

奉再建 新宮大明神 氏子般昌

五穀成就 大阿闍梨權大僧都本 日光法印

(棟札) 明治四十一年四月十日

奉葺替 新宮神社 社掌大庭通敏

(棟札) 色目瀬古一同敬者

奉改造 新宮神社 御本殿

大正十一年四月二十日 神職 三浦勇真

大正十一年四月二十日 神職 三浦勇真

はり・灸・マッサージ

川地三夫

川地治療院

養老町高田元町
電話32-0180

大垣マッサージ

大垣市郭町2丁目2 一丸ビル3F
電話74-6601

三輪板金店

養老町室原

電話(0584)34-1951

日用品、雑貨、食料品

川地屋商店

養老町室原

電話(0584)32-0804



北尾春圃 (喜多尾に作る) 松隱と

号す。父春竹は室原の産にして、医者なり。室暦二年十一月十四日歿す。

春圃はその長男なり。医を業とし、名声高し診療を乞う者列をなす。著書提耳談あり。仙台侯は春圃の名を聞き、三百石にて召抱へんとせり、

大垣侯之を聞き他国に往くを惜み、二十人扶持を与えて勤仕なくして大垣に居らしめる。春圃自から持するに高く、大官貴人の来るも送迎せず、

某大官は人をもつて無礼をとがめる。春圃曰く「送迎せざるを意とせば入来御無用なり」と、安永八年七月廿日歿す。

第二代春圃 名は信齡、南洋と号す。医業をつぐ

第三代春圃 医業。始めて勤仕を命ぜらる(総髮にして酒を好む)二十人扶持賜う。長子春圃後をつぐ、(この史料は天垣市史より)

第四代春圃 文化十一年正月十五日召出され、俸十五口を賜う。後増し二十口賜う、射場町に住す。

第五代春圃 明治二十一年歿す。

(下里氏の過去歴 大垣藩分限帳)

土木建築設計施工

株式会社 大建興業

代表取締役 大橋 一己

〒503-13 岐阜県養老郡養老町金屋114番地の1
TEL <0584> 32-1443

室原の瀬古

室原の瀬古 室原には井畑・色目・東向の三つの瀬古がある。これは別段、字（き）とは関係なく、住民が祭行事の奉仕等をするに便利に区域を三つに分けて、行事の運営をはかったのだろう。その区域が所謂瀬古であって、これこそ、住民の必要から生れたにちがいない。

それでは、この三瀬古が何時頃からできたかと云うと、それは、記録も言い伝えないが色目の年行事記録は宝暦十一年（一七六一）から「寄せ銭」やその他が記録されている。しかし瀬古の起りは、これよりはるか古いと思われる。

次に色目瀬古と郷境（郡境）について色々考えて見よう。

色目瀬古の南は小川と道路で、それが即ち郷境である。郷境の南地区は昔は多芸郡であった。長い年月の間に住民がだんだん増えて、郷境の北と南の二つに色目が出来た。

この郷境の南地区の色目は、昔橋爪・中・豊・宇田の人達が開拓したのだろう。この四ヶ村の地番が入り組んでいる。そこへ、だんだん農家が増えて、一つのまとまった部落を形成していった。

さてこゝで養老郡側に立って、この色目と云う名称が何時頃から呼ばれたかを探ってみると、蓮沢寺は石津郡多芸郡色目に在り、開基は大永四年（一五二四）実如聖人のときとあり、又同寺の往生日記（過去帳）は延宝八年（一六八〇）から、書き始めてあるがこれには、多芸郡安久庄色目とある。この色目と云う呼び名はそんな程度でなく、もっと古いものと考えられるが、今のところ、これ以上の記録が見当らない。又色目の由来については、七つの字（き）が進出し入り組んでいるので色目と云うことも聞いているが、これは後で説明づけた名前の感じがする。

明治二二年の町村合併の時には、日吉村へ合併となり、日吉色目と云う言葉が使われるようになった。其の後昭和二十九年に室原が養老町へ合併し村境がなくなった。

仕出し・食料品・酒

銀座米網商店

養老町飯田

☎32-3258(代)

☎32-0496

FAX 32-3682

室原^{あさ}字の由来

室原の現在の農地は大正三年の耕地整理によって旧字名を廃し新たに小栗栖（西北方）、新宮（西南）、住吉（東方）の三つの字名に整理された。この地名は三瀬古の神様の名を取ったものである。次に古老達に聞いた話や、地理や歴史的に見た判断で字名の由緒について、最もだと思われるものを説明しよう。

○五郎丸 この名が残ったのもかゝる言い伝えからであろう。

又この地には須恵器が出るので八百年又はそれ以前から人が住んでいたことが推測できる。

○茶園原、橋爪にも茶園原と云う地名がある。こゝには昔、茶店があつて旅人の休憩所だったと云う。又、境野には南宮道脇に佛堂があつて、そこを茶所と称して旅人が休憩所していた。室原の茶園原はどうか、今、私は由緒を知らない。古老達に聞いても、昔こゝに茶店あつたと云うことは聞いたことがないと答えられる。

茶園原には須恵器の出土品があることが述べてあるが、この地も五郎丸の隣り続きで八〇〇年それ以前から人が住んでいたこともわかる。又、重要な多良街道筋でもあつて、谷汲街道の分岐点も近いので、或る時代には茶店か休憩所ぐらゐがあつて、それが字名になったかもしれない。

○じょうど（十王堂） こゝには、もと「じょうど三昧」と称し東向の禪宗檀家等の先祖の埋葬墓地があつたが、大正三年の耕地整理で福源寺裏へ移動された。この墓地には、十王堂があつたので、「じょうど三昧」と呼んだ。従つて地名も「じょうど」と云うようになったのではないか。この地名の始まりは三百五・六十年前からであるが年数を経て十王堂をなままつて「じょうど」と呼び、それが字の呼び名として固定したのではないか。なお、この墓を十王堂三昧と三百年前に呼んでいたことは、福源寺の過去帳に左記のような法名がある。

撚糸加工

麻・糸・紡績・麻混紡糸・化合織

高野撚糸工場

代表者 高野 智

本社
養老郡養老町蛇持347
TEL (0584) 32-0966
FAX (0584) 34-3252

工場
不破郡垂井町栗原1437
TEL (0584) 22-2417

当所支配代官岡田五右衛門、鈴木勘左門宅ニ而頓死墓十王堂ニ在
澄月院内譽難心居士
赤坂安楽寺檀家同寺祠堂

涼 澤院澄月軟心居士延宝六戌午八月十八日

葬送焼香当寺 岡田五右衛門 陣屋江州手原

○安田の田の一部に俗称伊勢田と云う土地があった。これは勢州神戸の一柳監物に仕える室原村出身の六郎左衛門の所有で毎年年貢を送っていたと言う。寛永七年落命した。このよう
なことから伊勢田と言う言葉も残っている。

○西海道、西方海道筋でかゝる字名ができたのだろう。街道を昔は海と云う字を書いた。

○千代松、は人の名前で開拓したか所有していたかに関係がある。

○阿原、湿地帯で葦が密生していたにちがいない。

○松之木、松の木があつて、この名称が生まれたのだろう。

○中嶋、川の中で嶋になつている

○川田、川に沿つて細長い地

○鯨池、どじよ池、どじようが多くいたにちがいない。

○柳原、柳の多い土地だつたと思う。

○梨子笠・五島・大廻戸・落合・平ヶ町・花子・畑田・米野・桑島・壺丁子・小道・正尺・曾畑
等の字があるが、地形とか生物等に関係して名前がついている場合が多いと思う。

■業務内容

建築塗装 ・ 吹付工事 ・ 防水工事 ・ 土木工事
鉄骨塗装 ・ とび ・ 一般塗装

■塗り替えに関するご相談・お問い合わせは

 有限会社 **ダイコー**

代表取締役 大場 幸治

安八郡神戸町和泉135-2
TEL : 0584-27-4090
FAX : 0584-27-5390

室原の耕地整理 大正三年

隣の表佐・栗原が耕地整理を行うと室原も行う気運になって、大地主鈴木治左衛門の決意によって遂に決行されることになった。

大正元年——九年（完成式）

耕地整理の土方人夫は一日三〇銭から三五銭で木の札を使って整理した。当時米一俵三円位だった。又トロッコを耕地整理に初めて使ったと云う。請負いでトロッコ押は七銭であったが裏作ができなかったので農民は仕事に出た。

この大事業である耕地整理には低利資金が貸出され、三万五千円を三〇年間返済で借受けた。

この時、各地に墓地があつたが福源寺へ移動させた。又旧字名を廃して住吉・小栗栖・新宮の三つに整理して地番をつけた。外沖の田の耕地整理は行なわなかつた。

組合長 鈴木治左衛門 会計 鈴木愛吉

副組合長 安福慶作

農業協同組合

合原村信用購買販売利用組合の設立 大正十四年四月二十二日に村内各戸に初の出資金とし金二円を払い込んだ、そして組合長に鈴木治左衛門が就任した。

合原村農業会の設立 昭和十九年四月に合原村信用購買販売利用組合と合原農会と併合し合原村農業会を設立し、会長は鈴木治左衛門、専務は多賀主一同二十年四月、総会により会長を栗田采雄とした。

合原村農業協同組合の設立 昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法の公布によって、同二十三年三月五日に合原村農業協同組合を創立した。組合長に栗田采雄が選ばれた。理事に高木周市・川地宗一・川地庄市栗原からは水野平吉・多賀静・栗田胤次監事は多賀主一・川地利七・三輪治郎等であつた。

昭和二十四年組合長は栗田采雄・参事青木忠三

綜合包装資材商社

段ボールケース、接着テープ類、結束紐、バンド類、麻袋樹脂関係 荷造機械、ダンボール原紙、美粧ケース、漁業資材



西脇産業株式会社 ニシワキ段ボール工業株式会社

本社 岐阜県養老郡養老町高田406の5
電話 養老 (0584) 32-1231(代)

分村合併 養老町室原となる（昭和二十九年）

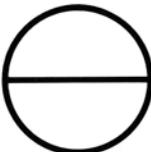
小規模の町村財政逼迫を知った自治省は、昭和二十五年に五ヶ年計画で町村の広域合併を指導した。当時不破郡に垂井を中心とする合併の動き、養老郡に高田を中心とする合併の動きの中で三百余戸の合原村は、両地域の間にあって、北か南か、議論百出し村内の輿論は、概ね栗原は垂井、室原は養老と真二つに割れて、けんけんごうごうとなった。南北何れにしても一長一短があって、村会は度々開いて協議したが、室原地区民は、南を主張して議会開会中に役場へ押し掛け、村会は度々開いて協議したが、室原地区民は、南を主張して議会開会中に役場へ押し掛けたこともあった。分村合併は今迄六十余年間に渡って築きあげた村の基礎を割ることであって最後は、学校問題から青年団や婦人会等の諸団体にまで影響し、又村施設の分割等複雑な問題にもなるので分村は極力さけねばならぬが、室原地区民は米の供出問題や日吉色目の力も加わって、南へ合併の力が強く譲らなかつた。西濃地方事務所長山本庄一氏の斡旋も遂に物別れとなり、昭和二十九年九月一日合併期限のぎりぎりの日に分村合併へと村会は議決に踏切った。そして栗原は垂井町へ室原は養老町へと対等合併と云う名目で合併することになった。

当時の合原村長は多賀静（第二期目 栗原五三才）村会議員は高木周市・川地庄市・川地文吾・田中三佐吉・川地文吾郎・角田金吉・児玉嘉平・栗田仁記・多賀信吾・水野秀吉・栗田胤二・水野平吉であった。

此分村は室原が分れて養老町に合併するので総て施設（学校・役場・診療所等）はその儘残し、代償として七十万円を受け取った。そして、此金は日吉小学校へ子供が転校する為その設備や備品購入費として差出した。なお此の分村に当っての学校や婦人会・青年団のことは、養老町史の教育の分野に詳記してあるので参照されたい。

室原出張所の開設。新養老町は、各旧町村ごとに、戸籍事務を主とした支所が置かれたが、室原には室原出張所が開設された。この出張所は、木造平屋建てで二二・五坪、土地は鈴木芳郎より借用（借用料金 六五〇円）。作物補償一、〇〇〇円、この建物は昭和三十年一月二十二日完成、工事費は三十五万六千二百四十七円、全部町の負担、工事は田中信次郎（室原）の請負であった。

歴代室原出張所長、自昭三六・一・三 至昭三九・四・五 安藤 清・自昭四二・八 長沢芳夫・自昭四三・三 谷 増二・自昭四七・三 久保田正・自昭四九・三 安福嘉市

快適な 住まい  作りのお手伝い

株式会社

日比野建材店

〒503 大垣市荒川町455
TEL<0584>91-6130

祝 町制施行40周年記念 室原曳軸歌舞伎

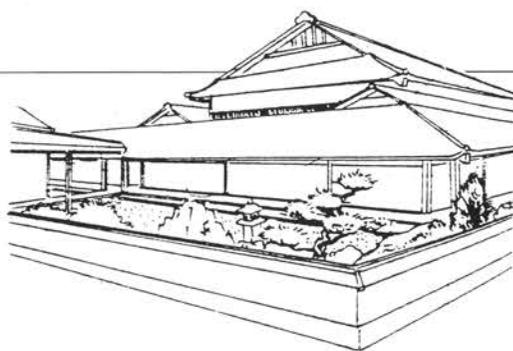


H6.9.15

室原区長会長 高木敏雄

創業明治23年

総合建設業
木材・造園



合名会社 **キ** 久保寺商店

本社／岐阜県養老郡養老町押越714
☎(0584) **32-1255**(代) 自宅(0584) **32-0902**

沢田工場／養老郡養老町沢田2345
☎(0584) **34-0223** FAX(0584) **32-1120**



ブルーチップ サービス実施中



昭和シェル石油株特約店／販売店

佐竹石油株式会社

岐阜県養老郡養老町蛇持21番地

TEL (0584) 32-3221



小林建材センター

小林 孝 教

大垣市静里町978の3

TEL (0584) 91-2223

FAX (0584) 91-7380

祝

養老町制40周年記念事業

室原子供歌舞伎

FLEXIBLE CONTAINER

産業用各種包装材加工

酒井樹脂加工所

代表者 酒 井 藤 夫

〒503-13 岐阜県養老郡養老町宇田北野556番地の2

TEL 0584-34-1991

祝

養老町制40周年記念事業 室原子供歌舞伎

当社オリジナル新鋭機により
納期短縮・精度の向上を実現しています

おまかせ下さい!!

板物はもちろん、役物、丸柱、
御影石製品ならなんでも

OK

株式会社 コダマ石材

有限会社 ストーンコダマ

代表取締役 児玉光男

株コダマ石材 〒503-13 岐阜県養老郡養老町室原294 TEL0584-34-0652(代) FAX34-0654
有ストーンコダマ 〒503-21 岐阜県不破郡垂井町宮代1053-1 TEL0584-23-4155 FAX22-0524

本格木造注文住宅建築一式工事

株式会社 伊藤建設

養老町般附大割田1532-1
電話(0584)35-1103(代)
FAX(0584)35-1268

祝

養老町40周年記念事業

室原子供歌舞伎奉芸

誠実をモットーに地域社会の建設に貢献する

産業廃棄物処理業・土木工事一式
舗装工事業・水道施設工事一式

株式会社 **東海事業**

代表取締役 **岡崎武**

〒503-13 岐阜県養老郡養老町飯田875の1

電話 <0584>**32-0085**(代)

FAX <0584>**32-9112**

取引銀行

大垣共立銀行養老支店 (普)432487

大垣信用金庫養老支店 (当)5714

贈答品・各種産業資材

包装資材から関連省力機器・システム設計まで皆様と共に歩む



株式会社

コノワキ

岐阜県養老郡養老町口ヶ島344-1

TEL <0584> 34-1488(代)

FAX <0584> 34-2887



H4.12 神殿の全景（拝殿工事中）

生涯学習

学びあい
支えあい

養老モラロジー事務所
TEL(0584)35-2007

忘年会・新年会・クラス会等に焼肉パーティを

焼肉はサン綾野

大垣市綾野5-41

電話(0584)91-2989



司

つかさ

壽

ず

司

し

大垣市綾野5丁目41番地

TEL <0584> 91-3068・91-9789

営業時間 AM11:30~PM10:00 火曜定休



法人設立25周年を迎えました

硝子工事・鋼製建具工事
パネル工事・屋根工事

株式会社 都 屋

本 社／養老郡養老町高田146-2
TEL (0584)32-3680(代)
FAX (0584)32-3681
名古屋支店／名古屋市昭和区御器所1-109
TEL (052)211-1500
FAX (052)211-1577
岐阜営業所／岐阜市藪田南1丁目11番3F
TEL (058)275-1200(代)
FAX (058)275-2911

—— 地元の繁栄に奉仕する ——

(株)大垣共立銀行養老支店
大垣信用金庫養老支店
(株)十六銀行大垣西支店
養老郡農業協同組合
室原簡易郵便局

内装・外装建材販売
住宅機器販売
ベニヤボード販売&カット加工

青柳 建 材

大垣市青柳町1丁目225 〒503

TEL (0584)89-3682

FAX (0584)89-7644

ハネムーン紹介キャンペーン



ご結婚をお控えのカップルをご紹介下さい。
ご成約の場合には、UCCギフトカードを
進呈いたします。

ジャパンアメニティトラベル代理店 運輸大臣登録旅行業代理店第6471号
メモリアルプラザ桂殿指定店 岐阜県知事登録国内旅行業 第139号

キャットスルトラベルサービス

取扱旅行商品

ルックJTB・ルックワールド
ホリディツアー・ダイヤモンドツアー
クラブメッド・レジャーツアーなど、
国内旅行も多数取り揃えております。

代表取締役社長 柏 康夫

岐阜県大垣市南瀬町4丁目57番地の1
TEL 0584-73-7275(代)
FAX 0584-75-0723

大東京火災プロ代理店
日本団体生命代理店

(株) 養 老 損 保

養老郡養老町石畑299 ☎(0584)34-0008(代)
0120-304-288
FAX(0584)34-0720
夜間(0584)32-9625



JFTDのフラワーギフト全国配達システム

全国へ、そして世界の主要国へお花が送れます。
お客様の心を大切にお届け致します。

花の店 **カ ト ー**

岐阜県養老郡養老町押越35の11(高田西町バス停前)
電話 **0584-34-3000**番(代)
FAX **0584-34-3001**

造園施工管理
土木施工管理

庭石・植木販売

株式会社 桑原造園土木

代表取締役 桑原英正

岐阜県海津郡南濃町奥条267番地の3

TEL <0584> 55-1144

FAX <0584> 55-1944



H2.10

日帰り旅行から
海外旅行まで

●思い出づくりの

 養走旅行センター

近畿日本ツーリスト 海外旅行代理店

養老町高田東町

TEL (0584) 34-2704(代)

ガラス・サッシ・シャッター工事一式

ヤ ツヤ
八 艶 商 店

日比野 増己

岐阜県養老郡養老町豊16

電話<0584>34-0610

田中織物工業株式会社

〒503-13 岐阜県養老郡養老町大坪168-1

TEL <0584> 32-0641

FAX <0584> 34-3641

小グループの旅行にピッタリの小型バス



●20人乗り ●CDカラオケ

国内旅行業・岐阜県知事登録44号
海外旅行業・運輸大臣登録一般旅行業代理店業第3569号



西濃観光バス株式会社

本社営業所 〒503 大垣市浅草4丁目65番地の1	TEL 0584-89-0033(代)
	FAX 0584-89-0194
大垣・郭町旅行センター 〒503 大垣市郭町東2丁目83番地	TEL 0584-78-4665(代)
	FAX 0584-81-4607
羽島旅行センター 〒501-05 羽島市竹鼻町狐穴砂入297-3	TEL 058-392-6644(代)
	FAX 058-392-9099
大野旅行センター 〒501-62 揖斐郡大野町黒野569	TEL 0585-32-1187(代)
	FAX 0585-32-1816
笠松営業所 〒501-61 羽島郡笠松町31	TEL 058-388-0128

おはな 介護-養老ウツ



株式会社 三栄フード

岐阜県養老郡養老町押越1084-1

●電話予約 ☎34-1234(代)



ムラシタの 楽しいわが家

一級建築士 村下 貴夫
専務取締役

総合建設業
村下建設株式会社

〒503-13
岐阜県養老郡養老町押越624の3
PHONE <0584>32-1267・32-1268
FAX <0584>34-0046

本格木造注文住宅

臼井建築

養老町室原
電話(0584)34-1938



家具&インテリア・輸入グッズ・ベビーショップ・漆器

Tsubakiya

〒503-13 養老町高田西町 ☎0584-32-0341代 ☎0120-32-9898

SUN PLAZA 志なやす

総合結婚式場

岐阜県養老郡養老町瑞穂 TEL(0584)37-2011(代)
FAX(0584)37-2133

カラスピード**50分**仕上の店

カメラ、ビデオ各種出張撮影、スピード免許写真

カメラのヒラノ

大垣市静里町1170の1(養老街道沿)
TEL 91-8157

日本石油綾野 S. S.



株式会社 **大橋日石店**

大垣市綾野町2636
TEL **91-3050**



広瀬屋

大垣市綾野5-41
電話(0584)91-1699



各種電気工事設計施工

マルカワ電気

川地政行

岐阜県養老郡養老町室原539番地
電話<0584>34-1911番

管工事業・水道施設工事業
養老町水道給水工事指定店
南濃町水道衛生工事公認業者(下水道)

住宅設備機器・給排水空調衛生設備工事

西脇ポンプ有限公司

代表 **西脇英雄**

岐阜県養老郡養老町五日市541
TEL <0584> 32-1635・32-0655
FAX <0584> 32-4328

総合電気設備・設計・施工・監理

近澤電気(株)

〒503-13 岐阜県養老郡養老町飯の木741の2

TEL (0584) 32-2817(事)

FAX (0584) 32-2534

TEL (0584) 32-9082(自)

伊商店

岐阜県養老郡養老町高田

TEL 32-0073

32-1592

機材部 32-3093

FAX 32-2639



H2.10

アルミサッシ木製建具

中村軽窓

代表者 中村嘉郎

岐阜県不破郡垂井町923

TEL <0584>23-2947

和菓子製造卸

園蝶金ノ飯(株)

岐阜県養老郡養老町飯ノ木16

TEL (0584) 32-0629

銘栗・栗入どら焼源氏・宝山の月・長崎カステラ

園蝶金ノ飯(株)

ヤナゲン 養老店1階

岐阜県養老郡養老町押越1032

TEL (0584) 34-1101

内線38番

アルミ建材住宅関連機材総合商社



KOBAYASHI

営業品目 新日軽代理店
三和シャッター代理店
YKKサッシ代理店
エクステリア一式
アルミ建材一式
総合建築資材一式

株式
会社

小林商事

岐阜県養老郡養老町蛇持524

TEL (0584) 32-3608(代)

FAX 34-2705

滋賀営業所 滋賀県長浜市八幡東町423-4
TEL (0749) 64-1695(代)
FAX 64-1006

一宮支店 愛知県葉栗郡木曾川町大字中大坪666
TEL (0586) 66-5288(代)
FAX 66-5289

エクステリア販売部 岐阜県大垣市綾野町1丁目2781
TEL (0584) 91-8886(代)
FAX 91-8889

有限会社コバヤシ 岐阜県大垣市綾野町1丁目2668
TEL (0584) 92-1601(代)
FAX 92-1612

<建築物・建築資材一式>

岐阜県瓦商工組合青年部委員長

表佐製瓦組合組合長

日本瓦・陶器瓦

多賀製瓦工業

〒503-21 岐阜県不破郡垂井町表佐1917

TEL (0584) 23-1027(会社)

22-1724(自宅)

携帯電話 030-259-2889

主 作 業 内 容

1. 一般土木一式
2. 鋼矢板打・抜一式
3. コンクリート・パイル打・抜
4. PC矢板打込み
5. 埋立工
6. 管工事及び側溝工事一式

小川建設株式会社

代表取締役 小川 芳子

〒503-13 岐阜県養老郡養老町蛇持5
電 話 (0584) 32-3422(代)
FAX (0584) 32-3893



Sun Messe

人・物・情報を集積・発信

サンメッセ株式会社

本 社/〒503 大垣市久瀬川町7-5-1
☎ (0584) 81-9111(大代) FAX (0584) 81-9884
支 店/東京・大阪・名古屋・岐阜

各種自動車钣金塗装フレーム修整

三田自動車工業

三田 貞雄

大垣市荒川町字菰田645の1
TEL (0584) 91-7381番

パッキン業界のパイオニア

ナゴヤパッキン製造株式会社

取締役社長 小寺 史郎

本社／名古屋市中区千代田2-3-19

TEL (052)261-2601

工場／岐阜県養老町室原472-1

TEL (0584)32-9050

J K C 公認校

創業30年の信用と実績

訓練・販売・ホテル・交配

シンセイ愛犬訓練学校

〒503-16 養老郡上石津町三ツ里田村105-3

(名神関ヶ原インターより約15分)

TEL・FAX 0584-45-3577

建築・設計・監理

株式会社 **佐藤建築設計事務所**

一級建築士 佐藤 雄一

岐阜市島田町中町17-2

TEL 058-253-6361

マツイ工業

松井勝一

岐阜県養老郡養老町室原字新宮843-1

TEL <0584>34-3566

FAX <0584>34-0797

カーペット用・織布用巻芯棒・エーワンチューブ(建築用型枠、芯材)

———ボイド・紙管の総合メーカー———



米谷商産株式会社

代表取締役 米谷澄彦

TEL <0584>32-3416

FAX <0584>34-3603

強力乾燥剤 スーパードライ

製造発売元



株式会社 筑後物産

岐阜工場 岐阜県養老郡養老町室原字小栗栖326

〒503-13 TEL 0584-32-9090 FAX 0584-34-0880

本社工場 福岡県筑後市大字上北島833

〒833 TEL 0942-53-4128(代)FAX 0942-52-2642

機械加工一式

(有)丸八工業所

社長 森 八郎

工場／養老郡養老町室原字小栗栖438 〒503-13 ☎<0584>32-1350

自宅／大垣市西崎町1丁目64番地 〒503 ☎<0584>73-2194

大垣

矯正歯科・小児歯科・歯科・歯周病相談

メーヨ 歯科

院長 山田 武治

大垣市長松町1127-2

電話 (0584)92-2040

工場、車庫、その他

松岡鉄工

養老郡養老町室原201

TEL (0584)34-3917

(有) マルイチ産業

岐阜県養老郡養老町室原363

TEL (0584)32-9218

FAX (0584)34-0734

岐阜LPG協会[®]公認店

集中管理システムNo.1店

エッソファミリー **米 岳**

養老町三神町535

TEL 32-0772(代)

FAX 32-3101

社寺一般屋根工事 設計施工

特殊粘土瓦窯元

丸惣産業株式会社

本社
岐阜市芥見清水66
TEL (058)243-1021
FAX (058)243-1021

工場
岐阜市芥見清水176
TEL (058)243-1811
FAX (058)243-1811

石井三之丞の恨の柿の木



室原、福源寺に石井三之丞の墓、位牌がある石井源蔵の墓、
京都府亀岡市西堅町宗堅寺

94.9

石井三之丞の恨の柿の毛

石井三之丞の父右衛門は、大阪で甥の赤堀源五右衛門に殺害されたので、三之丞は、この敵を大垣方面へ追って室原のおじ犬飼瀬兵衛の家により、捜査中逆敵に発見され、風呂から出た所をふいに返り討ちに合つて、三之丞は恨を呑んで死んだ。

その後、敵は逃げて亀山藩に仕官していた。それを父の死後二十九年目(元治)に三男源蔵・四男半蔵の手で見事敵討に成功したこの柿の木は枯れてしまい若木に積って生えている。今はその古

建築土木工事

近藤組

代表 近藤賢市

養老郡養老町室原
TEL (0584)32-3236



GR—石のことなら

株式会社 岐阜流通石材

岐阜県養老郡養老町室原340-1
電話(0584)34-3135

株式会社 ニュースト

名古屋営業所 中野 厚

名古屋市中区錦1-8-32 原啓ビル4F
TEL (052)222-1761(代)

トステム株式会社

ビル建材本部 名古屋支店

岐阜営業所 所長 後 藤 誠 治

■岐阜営業所

岐阜県岐阜市茜部菱野1丁目50番地 大道ビル3F 〒500
TEL (058)271-4111(代)
FAX (058)276-2409

■名古屋支店

名古屋市中村区名駅3-22-8(大東海ビル) 〒450
TEL (052)565-1100(代)
FAX (052)561-8050

安全と信頼

DAIKI LEASE
総合ビル

建設・産業機械・仮設機材・仮設ハウス
リース・レンタル・販売・修理



大機リース株式会社

大垣営業所/大垣市長松町高西1119 TEL (0584)92-0855

《岐阜工場のご案内》

■所在地

〒503-13

岐阜県養老郡養老町

室原字小栗栖32-1

TEL (0584) 34-2889

FAX (0584) 34-2892

■敷地

約23,000㎡(約7000坪)



❀ 世界の石のお仲間 ❀

 **コトラス株式会社**

本社：〒110 東京都台東区下谷3丁目10番11号コトラスビル
TEL (03) 3876-4281(代) FAX (03) 3876-5466
関東支店：TEL (03) 3876-4114(代) FAX (03) 3876-4130
東北支店：TEL (022) 275-6411(代) FAX (022) 275-6413
西部支店：TEL (078) 341-5560(代) FAX (078) 341-0587
中部支店：TEL (0584) 34-2867(代) FAX (0584) 34-2892
岐阜工場：TEL (0584) 34-2889(代) FAX (0584) 34-2892
ヤマトセンター：TEL (0296) 58-5213(代) FAX (0296) 58-5224
アブクマセンター：TEL (0249) 73-2814(代) FAX (0249) 73-2813

酒・たばこ・ギフト・調味料・飲料水

酒のカネマル

宮川 清

養老町飯田(角田) 火曜日定休

TEL(0584)32-0636

一般建築材・北洋材・南洋材・米材原木卸・納材製品

今津木材株式会社

大垣市禾森町2丁目24番地 TEL (0584)78-2657 自宅

代表取締役 今津 一雄 (0584)78-6348(代)工場

専務 今津 孝司 FAX (0584)78-7561

より安全に より快適に ベニ一の炎

ベニープロパン・ブタン・モーターガス



取締役社長 伊藤 崇

大垣市荒川町658番地 ☎(0584)91-1511(代)

関連事業所



サンエネックサービス

代表 稲川 悟

〒503 岐阜県大垣市笠木町679-2

TEL(0584)91-8982

FAX(0584)91-8982

戸長・町長一覧表

<p>栗原村外一ヶ村戸長(明治十八年)同二十二年より村長</p>	<p>西善太郎 大正七・五・九一〇・二・一四 鈴木愛吉(室原) "一〇・四・二七―昭和一六・八・二五 西脇信一(栗原) 昭和一六・九・一三―二一・二・一一 代理西脇敏男(〃) "二一・二・一一―二一・七・二三 西脇次郎(室原) "二一・七・三三―二二・四・四 三輪次郎(栗原) "二二・四・五―二九・一一・三〇 多賀 静(栗原) "二二・四・五―二九・一一・三〇</p>
<p>上田篤太郎 明治一九・八・二八 (納税書署名) 林 亮吉 "二二・一〇 (〃) 栗田幸太郎 "二六・一・一七 (村長・垂井町史) 栗田勝夫 "二九・二・一七 (選挙告知書)</p>	<p>山田良三(高田) 昭和二九・一・二―一三・七・一一―一四 成瀬信之(〃) "三七・一二・一五―四一・一二・一四 津田 梨(〃) "四一・三・一四―五七・一二・十四 清水敏郎(室原) "五七・一二・一四―現在 明治二十二年市町村制がしかれ、官選戸長から市町村会の選挙による首長町村長が生まれた。 明治三十年四月、栗原村と室原村合して合原村となる。</p>
<p>合原村(明治三十年四月)歴代村長 栗田勝夫(栗原) 明治三〇・七・二七―三三・七・二〇 高木茂雄 "三三・七―三五・二・一 栗田象四郎 "三五・九・九―三六・六・五 代理山田桂太郎 "三六・六・六―三六・一一・二一 山田桂太郎(表佐) "三六・一一・一―四〇・一一・一〇 代理西脇仙太郎 "四〇・一一―四一・一一 西脇仙太郎 "四一・一一―三三―四四・二・二〇 代理堀 嘉明(室原) "四四・三―四四・九 柳瀬謹之助 "四四・九―大正六・九・二六 堀 嘉明 大正六・九・二六―七・五</p>	<p>養老町(昭和二十九年十二月一日分村合併)歴代町長 山田良三(高田) 昭和二九・一・二―一三・七・一一―一四 成瀬信之(〃) "三七・一二・一五―四一・一二・一四 津田 梨(〃) "四一・三・一四―五七・一二・十四 清水敏郎(室原) "五七・一二・一四―現在 明治二十二年市町村制がしかれ、官選戸長から市町村会の選挙による首長町村長が生まれた。 明治三十年四月、栗原村と室原村合して合原村となる。</p>

県会議員。明治一一年七月府県会規則の公布ありて、翌一二年三月岐阜県内の各郡に於いて総選挙を行い、不破郡では二名を選出した。同三〇年一〇月県の自治拡大、同年より不破郡の定員は一名となった。室原出身の県会議員は、昭和四年に当選し同五年に死亡された富長静丸(長願寺住職)がある。

総合建築請負・木材・銘木・製材一式

 株式会社 木村材木店

養老町安久

TEL 32-0171(代)

FAX 32-9056

住んでよし 心ゆたかな木の住まい

素材・製材・建築請負

森川製材所

養老郡養老町宇田507

電話 (0584) 32-1270代 自宅 32-0740

FAX (0584) 32-2908



鉄骨総合建築・製缶

大橋鉄工所

養老町高田

電話(0584)32-0381

人間の大切な右脳を発達させる

そろばん学習が、今、注目の習い事

室原校 [室原 熊野神社社務所
①5時より ②1時より ③9時15分より]

お近くの教室へ早目にご入学下さい。(授業のある日に来て下さい。)

文部省令 各種学校 岐阜県知事認可

新小学二年以上
(一年生も入学できます)

生徒
募集

加藤そろばん学校

屋外広告看板・企画・製作・施工

うのアート

岐阜市下土居326の2

☎(058)233-5826 FAX(058)233-5826

思い出のページ



H2.10



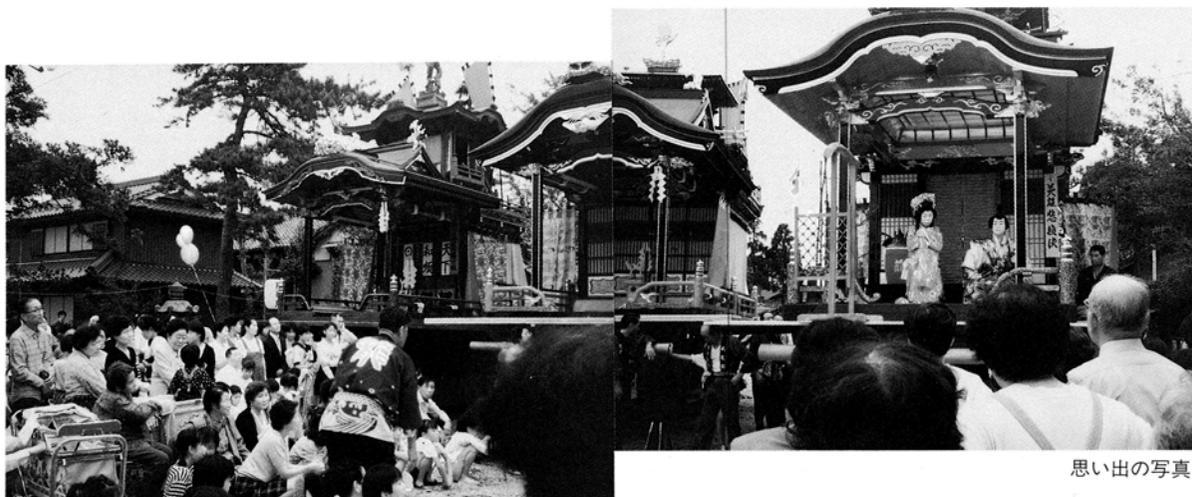
綜合建設業



株式会社 古川工務店

代表取締役 古川 行 男

養老郡養老町高田506の7
TEL (0584) 32-1277(代)



思い出の写真

能 芸 統 伝

夫 太 義

形 人 樂 文

線 味 三

か せ ン み て 始 め て 古 稽 お

養老町室宮文楽人形浄瑠璃大会 主催
室宮文楽保存会

日時 昭和六十二年四月六日(日) 正午開演
場所 養老町室宮公民館 二階ホール

〇 香 組 人形使会員終生出演

一 人形入 十段目
一 絵巻大切記 尾崎十段 竹本雄心 重井 古山昇

一 同 竹本初司 古山昇

一 艶容女舞衣 二場半七 酒尾代俊 竹本梅信 竹本梅玉師

一 人形入 十段目
一 竹世の深鳴戸 迎礼 歌川道 竹本美玉 重井 清水愛子師

一 二谷櫛電記 三之切 熊倉彦俊 福田金竜 改年 竹本勝昇師

一 日吉丸稚楊 三之目 五郎助健彦 竹本一博 竹本梅玉師

一 絵巻大切記 十段目 尾崎代俊 真茶 志村昇示 竹本勝昇師

一 出所楊 三之目 韓慶上使成俊 竹本右玉 清水愛子師

一 日吉丸稚楊 三之目 五郎助健彦 真茶 白木 勝竹本勝昇師

一 阿弥日記 大井川竹本梅心 竹本梅玉師

一 壹坂靈驗記 二前 沢市お里 真茶 福田 司 竹本勝昇師

一 千秋樂 福田 司 竹本勝昇師

一 壹坂靈驗記 石気樂 白木 勝竹本勝昇師

後 援

養老町教育委員会
室宮文楽保存会
重井初司
室井町長 大保存会
中郡日本新聞 改年日新聞

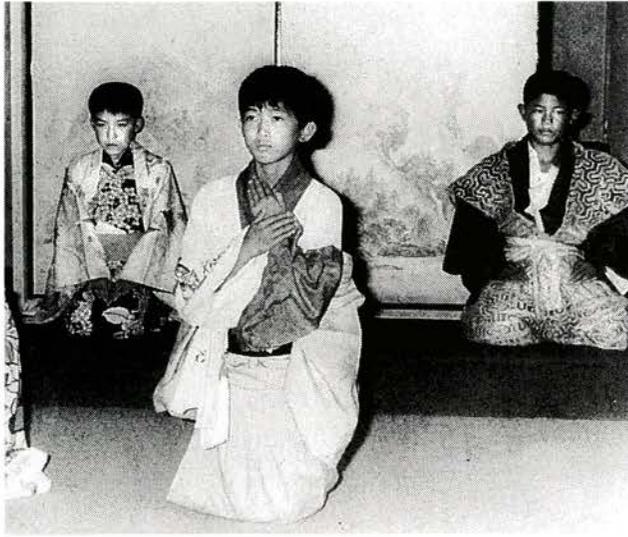
「ほくもやってみたい」…出演希望児童が続出

子供歌舞伎復活

養老町室原

来月5日に祭りで披露

毎日8時間の特訓 三味線など 用い本格的



役になりきって歌舞伎の練習をする子供たち。養老町の室原自治会館で。

養老町室原地区に住む八人の子供たちが、子供歌舞伎の練習をしている。十月五日に地元で行われる熊野神社の祭りで披露する予定。子供たちはこの夏休み

の間に特訓を重ね、本番の日を待ちかねている。この八人は、日吉小の四一六年生の男児ら。同神社の祭礼では、戦前、毎年このように子供歌舞伎が奉納されてきたが、現在は子供の数も少なくなり、平成二年に奉納されてからは途絶えていた。

題目は「御所桜堀川夜討・弁慶上使の段」

しかし、ことしは町制四十周年ということもあり、希望する子供を募ったところ、「やってみよう」という申し出が続出。その中から八人を選び、地元室原自治会館で、八月二日から計十五日間、一日当たり八時間の練習を繰り返してきた。指導には、元役者の市川蝶升さん、愛知県一宮市在住の宮市が当たっている。

演目は「御所桜堀川夜討・弁慶上使の段」(一時間二十分)で、当日は山車の上で演じる。練習は三味線なども用いて本格的に行われ、役になりきった子供たちの目は真剣そのもの。雰囲気が出るようにと、父母らも練習用の着物を手作りして着させるなど協力している。

学校が始まる九月から、週に数日、夜に集まって練習する。同地区長会長の高木敏雄さんは「昔からの伝統が復活するのはうれしい。十五日の敬老会の集まりでも、練習ぶりを見てもらって、お年寄りに喜んでもらいたい」と話している。

H 6・9・1

中日新聞

社寺・一般屋根工事 設計施工

高木秋雄

養老郡養老町色目338
電話(0584)34-1886

小川産業

大垣市寺内町3

TEL (0584) **78-5311** FAX (0584) **81-8046**

工場

大垣市十六町1242 TEL (0584) **91-0171**

H6.9.15 敬老会 (全景)



H6.9

町制40周年記念事業実行委員会役職名

相談役	川地敏郎			
実行委員会会長	高木敏雄			
" 副会長	鈴木昌三			
" "	安福彦七 (相談役)			
" "	川地宗一 (賄い担当)			
書記、会計	犬飼 明			
幹事長	堀 重行			
副幹事長	川地正矩	佐倉 明	三輪敏夫	
幹事	川地哲雄	田中弘行	多和田久敏	
演芸部長	川地 勝	(副) 三輪夏次	協力団体	文 楽
接待世話係長	川地宗一	(副) 吉田重吾	"	老人クラブ
" "	高木豊子	(副) 近藤美代子	"	婦人会
" "	田中啓子	(副) 川地妙子	"	子供育成会
送迎係長	田中信一郎	(副) 青木 実	"	体育振興会
" "	近藤正次郎	(副) 安福禄人	"	青少年育成委員会
" "	高木英司	(副) 川地 求	"	改良組合長会
小道具係長	堀 重行		"	区長会全員
" "	川地正矩	高木文彦	翠 豊	
集金係長	犬飼 明	区長全員	小栗栖班長	神明下班長
監 査	井畑瀬古	川地一夫		
	東向瀬古	高田幸男		
	色目瀬古	川地重次		
写真：宣伝：印刷	区長会、商工会、改良組合長会			
放送：照明	改良組合長会、体育振興会			
事務局	藤井万澄美			

井畑軸
(万歳閣)



井畑 (万歳閣)

後見

川地政和

高木知一

年行司

川地四六

川地利毅

高木稔

川地一夫

近藤正次郎

高田保夫

東向軸
(鳳凰山)



東向
(鳳凰山)

後見

田中敏行

高田勝弘

年行司

佐倉明

高田幸男

高木賢治

佐久間 条大郎

田中真裕

色目軸 (臥龍閣)



色目 (臥龍閣)

後見

中村佳史

佐久間浩樹

年行司

高木和美

高木建司

川地憲生

高木浩実

高木勇吉

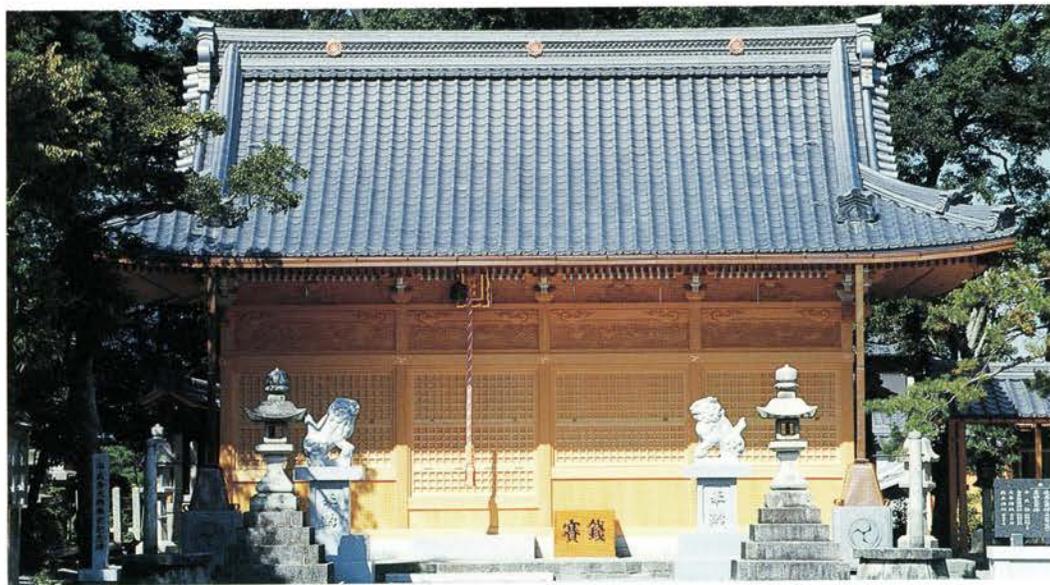
伊藤文夫

川地正久

川地重次

祝 養老町制四十周年記念事業

室原子供歌舞伎奉芸



夢と未来が育つフィールド

企業力と自由な社風

総合建設業

堀建設工業株式会社

養老郡養老町室原1007
TEL (0584) 34-2292(代)
(0584) 32-3706
FAX (0584) 34-2736

祝 養老町40周年記念事業

室原子供歌舞伎



- 大垣SC
- 神戸SC
- 大野SC
- 垂井SC
- 荒尾SC
- 鏡島SC
- 穂積SC
- 巢南SC
- 宿地SC
- 岐大SC
- 池田SC
- 北方SC
- 改田SC
- 本巢SC
- 島SC



Tomidaya

フードセンター
トミダヤ

本部/大垣市伝馬町33 ☎<0584>78-3745(代)



タフテッドカーペット， タイルカーペット
及び人工芝の製造、販売、施工

 **三菱バーリントン株式会社**

岐 阜 事 業 所

岐阜県養老郡養老町室原

郵便番号 503-13

電話 養老(0584)32-3311(代表)